

令和5年度

和歌山県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

「高次脳機能障害研修会」

「高次脳機能障害」は、脳出血等の脳疾患や交通事故等の外傷によって脳に損傷を受けたことが原因で生じる障害です。受傷前にできていたことができなくなり、仕事や生活など様々な場面で困っているにもかかわらず、外見上わかりづらいことから「見えない障害」とも言われています。

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座 准教授 幸田剣氏より高次脳機能障害について解説いただくとともに、元フジテレビ キャスター・解説委員 松本方哉氏より高次脳機能障害となった妻を支えてきた体験談等を語っていただきます。

日時

令和6年

入場無料

2月10日(土) 13:30~16:30

(13:00開場)

第1部 13:30~14:00
「高次脳機能障害とは」

和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座

こうだ けん
准教授 幸田 剣 氏

第2部 14:15~16:30

「突然、妻が倒れたら

～家族はどう高次脳機能障害に伴走すべきか～」

まつもと まさや
元キャスター・解説委員 松本 方哉 氏



上智大学文学部英文学科を卒業後、1980年にフジテレビに入社し、報道局に配属されました。

外信デスク、ワシントン特派員、情報デスクや解説委員、ニュースJAPANのキャスターとして、活躍されてきました。

2007年11月に妻(当時47歳)がくも膜下出血で重い麻痺や高次脳機能障害を負い、その後は、ニュースJAPANのキャスターを降板され、妻の介護を中心とした生活を続けながら、著述や講演など各地で発信されています。

著書「突然、妻が倒れたら」(新潮社)

会場 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ 4階ホール
(和歌山市北出島1丁目5番47号)

定員 200名(申込順)

開催方法 ハイブリット形式

(会場およびオンラインの併用で行います)

※ オンラインはMicrosoft Teamsによる配信

※手話通訳・要約筆記付き研修会(予約不要)

問い合わせ先

和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 障害者支援課

TEL 073-445-7314 FAX 073-446-0036

e-mail e0404025@pref.wakayama.lg.jp

